

平成22年度 水道事業会計決算の概要

生活に欠かすことができない「安全で良質な水」を安定してお届けすることが水道事業の最大の使命です。

このため、重要課題の解消に向けて水道施設の整備や維持管理を計画的に実施しました。

なお、経営成績並びに財政状態を明らかにすることを目的として、企業会計方式の経理方法により、管理運営に関するもの（収益的収支）と施設の建設に関するもの（資本的収支）に区分しています。

1. 経営成績について

営業利益 1,013,923,787円、経常利益 697,910,408円、当年度純利益 629,344,367円となりました。

2. 財政状態について

平成22年度末における財政状態は、資産の部合計 41,951,171,473円、負債の部合計 2,019,048,267円、資本の部合計 39,932,123,206円となりました。

3. 建設改良事業について

平成22年度から平成30年度までの第二期水道施設整備計画に基づき、基幹施設の耐震化、経年管の布設替、経年施設の更新及び配水管の布設を図りました。

4. 整備状況

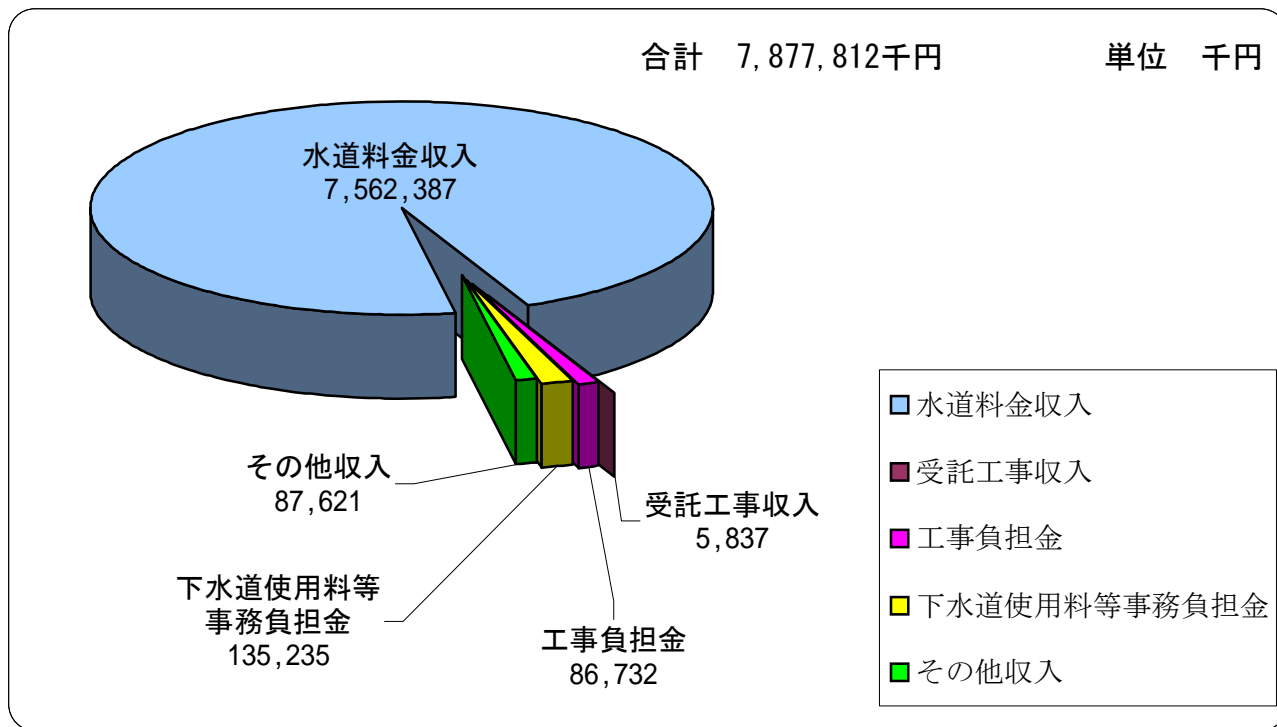
平成23年3月31日現在

| 項 目 | | 平成22年度 | 平成21年度 | 差引増減 |
|-----------------|----------------|------------|------------|--------|
| 行政区域内人口 | 人 | 314,162 | 313,890 | 272 |
| 給水人口 | 人 | 314,021 | 313,748 | 273 |
| 給水普及率 | % | 99.96 | 99.95 | 0.01 |
| 年間有収水量 | m ³ | 38,460,421 | 38,461,041 | 620 |
| 年間配水量 | m ³ | 42,416,748 | 42,359,395 | 57,353 |
| 1日最大配水量 | m ³ | 131,809 | 130,843 | 966 |
| 1日平均配水量 | m ³ | 116,210 | 116,053 | 157 |
| 職員1人当たり 給水人口 | 人 | 3,694 | 3,565 | 129 |
| 職員1人当たり 有収水量 | m ³ | 452,476 | 437,057 | 15,419 |
| 供給単価 | 円 | 187.26 | 187.29 | 0.03 |
| 給水原価 | 円 | 176.86 | 189.37 | 12.51 |
| 導・送・配水管 延長 | m | 1,556,150 | 1,554,537 | 1,613 |

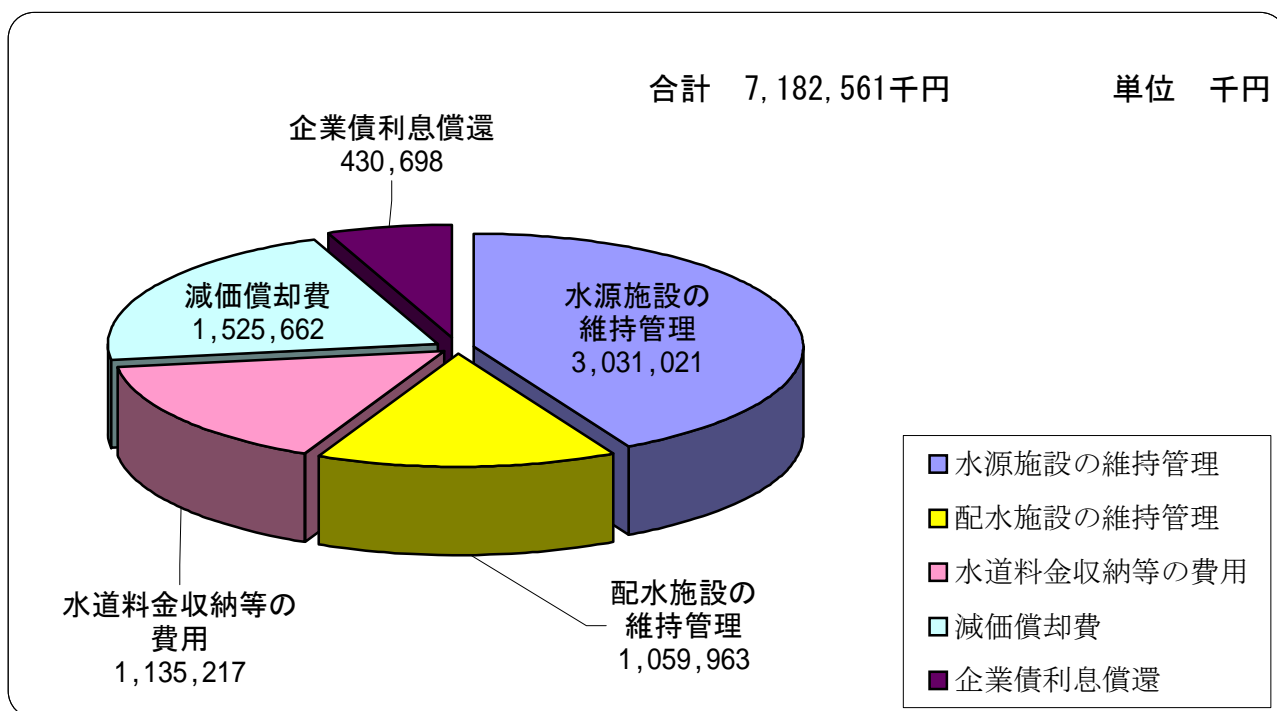
5. 財政状況

(1) 収益的収支（税込）

収入 管理運営経費の財源である収入は、水道をご利用になる皆様にご負担いただく水道料金が全体の96%を占めています。

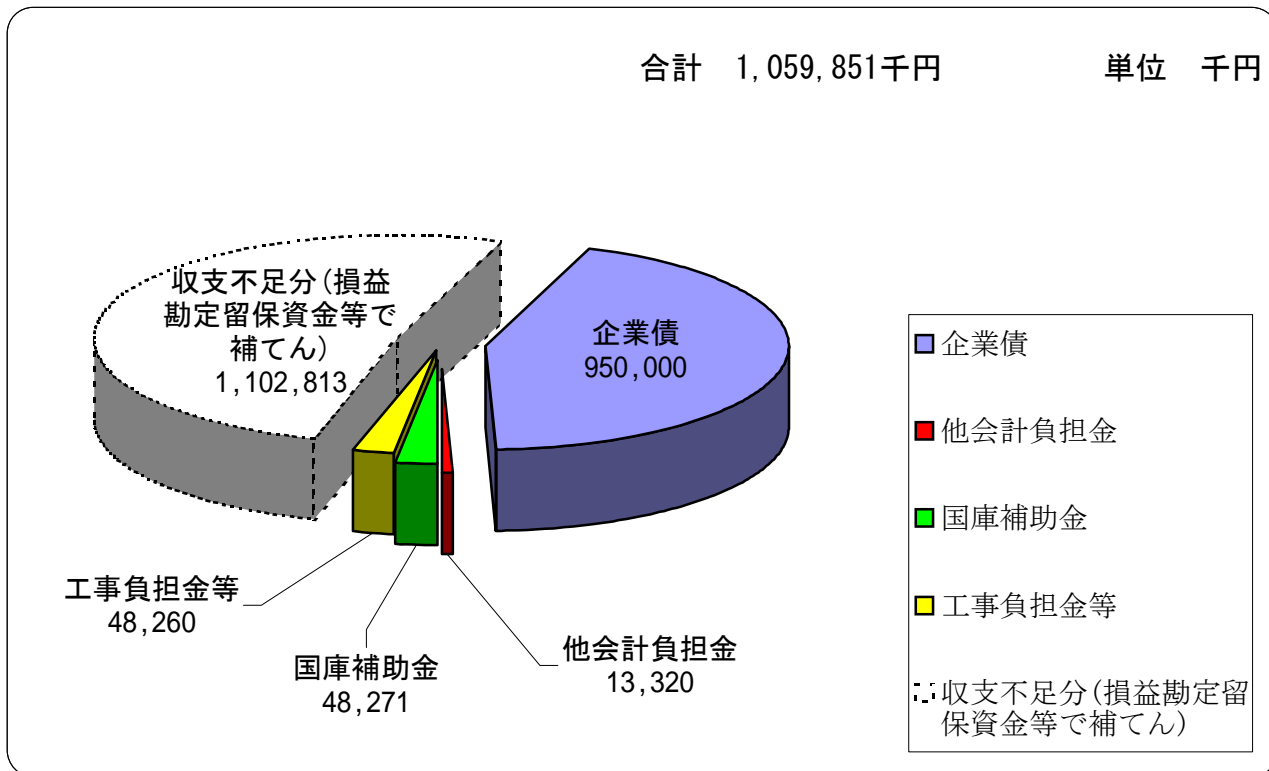


支出 水源施設及び配水施設の維持管理の費用で57%、水道料金収納等の費用で16%で、減価償却費の費用で21%、企業債の利息償還の費用で6%です。

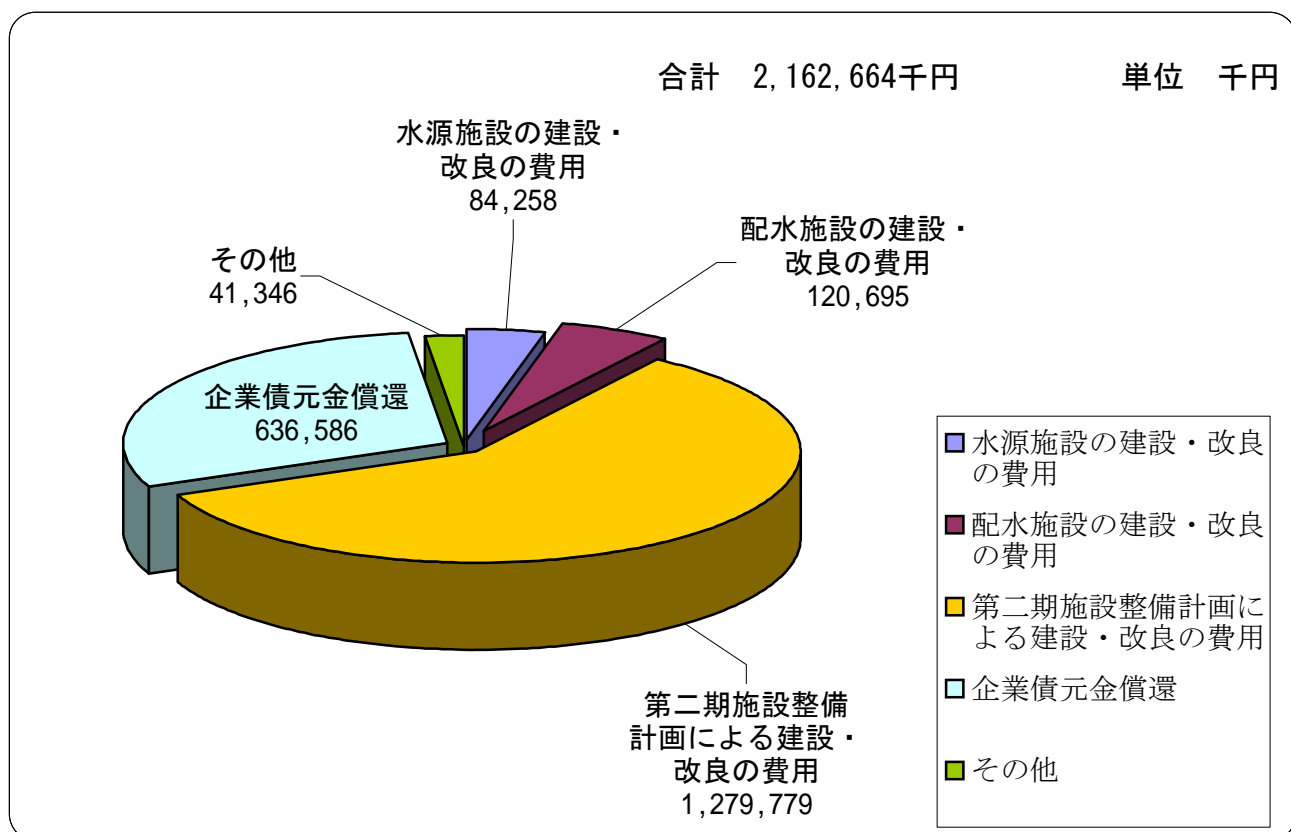


(2) 資本的収支（税込）

収入 資本的収入は、将来の経営活動に備えて行う建設改良及び企業債償還の財源です。



支出 水源、配水施設、第二期施設整備計画による建設・改良の費用等で71%、企業債の元金償還で29%を占めています。

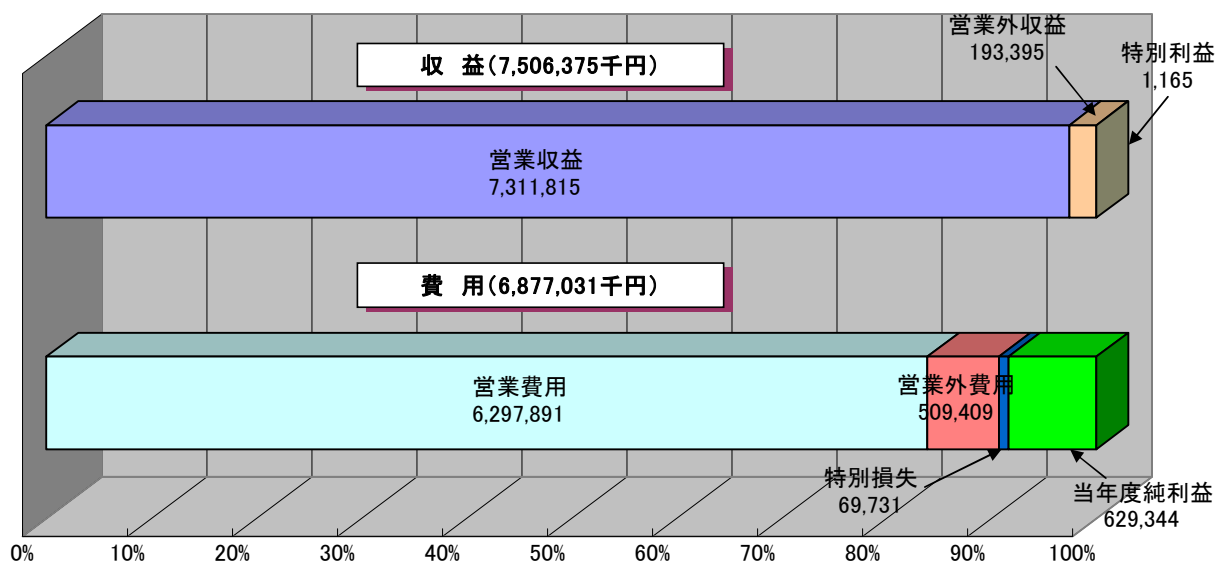


(3) 損益計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

単位 千円 (税抜)

| 費用の部 | | 収益の部 | |
|---------------|------------------|---------------|------------------|
| 営業費用 | 6,297,891 | 営業収益 | 7,311,815 |
| 原水及び浄水費 | 2,894,967 | 給水収益 | 7,202,274 |
| 配水及び給水費 | 1,031,639 | 受託工事収益 | 5,837 |
| 受託工事費 | 5,235 | その他 | 103,704 |
| 業務費 | 333,296 | 営業外収益 | 193,395 |
| 総係費 | 485,163 | 受取利息及び配当金 | 1,485 |
| 減価償却費 | 1,525,662 | 雑収益 | 191,910 |
| 資産減耗費 | 21,929 | 特別利益 | 1,165 |
| 営業外費用 | 509,409 | | |
| 特別損失 | 69,731 | | |
| 費用の部合計 | 6,877,031 | 収益の部合計 | 7,506,375 |
| 当年度純利益 | 629,344 | | |
| 合計 | 7,506,375 | 合計 | 7,506,375 |



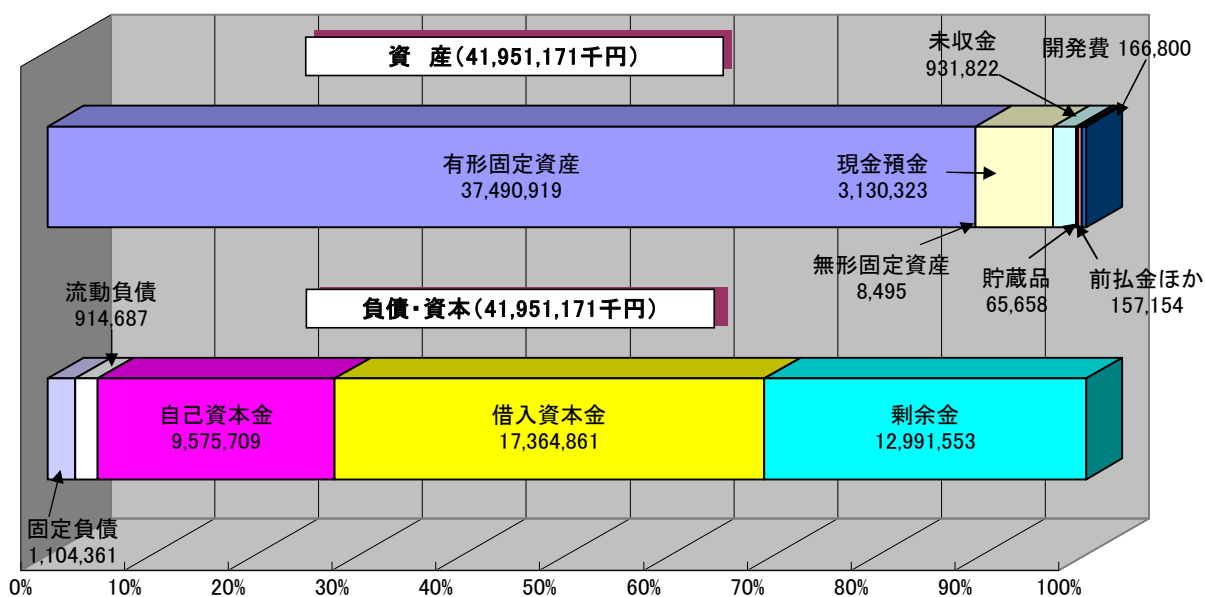
損益計算書は1事業年度における企業の経営成績を明らかにするために、その年度中に得たすべての収益からそれを得るのに要した費用を差し引く形で損益の発生原因とその期間の純損益を表した報告書です。

(4) 貸借対照表

(平成23年3月31日)

単位 千円 (税抜)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|----------------|-------------------|----------------------|-------------------|
| 固定資産 | 37,499,414 | 固定負債 | 1,104,361 |
| 有形固定資産 | 37,490,919 | 流動負債 | 914,687 |
| 無形固定資産 | 8,495 | 資 本 の 部 | |
| 流動資産 | 4,284,957 | 資本金 | 26,940,570 |
| 現金預金 | 3,130,323 | 自己資本金 | 9,575,709 |
| 未収金 | 931,822 | 借入資本金 | 17,364,861 |
| 貯蔵品 | 65,658 | 剰余金 | 12,991,553 |
| 前払金 | 157,050 | 資本剰余金 | 12,362,209 |
| その他 | 104 | 利益剰余金 | 629,344 |
| 繰延勘定 | 166,800 | | |
| 開発費 | 166,800 | | |
| 資 産 合 計 | 41,951,171 | 負 債 ・ 資 本 合 計 | 41,951,171 |



貸借対照表は企業の財政状態を明らかにするため年度末において保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表した報告書です。

その資産が何によって形成されているかを示しているのが負債・資本です。借入資本金とは施設の建設・改良による借入金で、水道事業においてはこれが4割以上を占めています。